

平成 29 年 1 月 31 日

記 者 発 表

～ 拡がる交流 ～ 和歌山県とインド・マハラシュトラ州

和歌山県は、平成25年10月にインド・マハラシュトラ州と観光交流等にかかる覚書を締結し、様々な交流を進めています。

1. 実績に結びつくファム・ツアー

○平成 28 年 5 月に、双方向でファム・ツアーを実施

○両ファム・ツアーとも成果が出ており、マハラシュトラ州観光開発公社から来年度も引き続き実施したいとの要望あり

【実 績】

- ・本 県：本県を訪問した数社が、来年度の日本向け商品で本県（高野山等）を盛り込んだ商品を計画中
- ・マ 州：ファム・ツアー参加の旅行会社がアジャンタ、エローラ及びムンバイ観光を盛り込んだ商品を秋以降、続々発売 ※州観光開発公社も日本人観光客増加を把握

2. 観光おもてなし メガ・クリーンアップ研修

○平成 29 年 1 月 17 日（火）にマハラシュトラ州のアジャンタ石窟群周辺において、本県で実施している世界遺産の保全活動を伝えるため、地元学生約 100 名を対象に研修を実施



3. 次世代人材育成 わかやまの青少年に学ぶ

○平成 29 年 1 月、マハラシュトラ州観光開発公社職員及び現地ガイド等 26 名が来県し、田辺市立東陽中学校にて、将来の世界遺産保全を担う子供達を対象とした次世代育成の取り組みをテーマにした研修を実施

○来年度もマハラシュトラ州内学生が同校を訪問し、交流を実施予定



4. マハラシュトラ州行政職員研修 YASHADA (マハラシュトラ州研修機関)

○平成 28 年 10 月にマハラシュトラ州及び州内自治体幹部職員 47 名が来県し、本県の行財政制度、市町村の下水道事業、ごみ処理などをテーマにした研修を実施

○研修内容が非常に充実したものであったことから、州政府幹部より来年度も和歌山県に研修団の受入要請あり

- ・ 訪問予定の研修団：2 団（行政研修団、警察研修団） ※実施時期は今後調整



5. 和歌山県ムンバイ事務所の開設

○現在、和歌山県事務所はオーランガバードに設置しているが、マハラシュトラ州観光開発公社及び州政府との連携を密にする観点から、ムンバイに事務所を開設

- ・ マハラシュトラ州観光開発公社ムンバイ支部内に開設予定

～ 覚書更新について ～

○マハラシュトラ州政府から、平成 30 年 1 月に知事をムンバイに招き、覚書の更新をしたい旨の提案をされる。友好関係を深めるため覚書更新の作業を進めていく。

現行覚書 平成 25 年 10 月 9 日締結 期限 5 年

【参考】和歌山県とインド・マハラシュトラ州との関係について

- (1)平成 25 年 10 月に観光と食品加工の分野に関する覚書を締結
- (2)この覚書に基づき、平成 26 年 6 月に和歌山県世界遺産センターとマハラシュトラ州アジャンタビジターセンター (AVC) の交流及び相互の情報発信についての協定を締結 (AVC はマハラシュトラ州観光開発公社 (MTDC) が所管)
- (3)協定の具体的な取組として、①それぞれの施設で相手の世界遺産情報を展示、②JICA 草の根技術事業を活用し、和歌山県と MTDC がインド・マハラシュトラ州における「観光おもてなし」支援事業を実施
- (4)平成 26 年 8 月からインド・マハラシュトラ州 (オーランガバード) に職員を 1 名派遣

〈お問い合わせ〉

企画部企画政策局 国際課

担当：山下・宮本・小池

電話：073-441-2061